

すべての子供に  
「できた」「わかった」を!

# 指導案のセルフチェックで 「めあて・まとめ」の質の向上を図る



指導案は完成したけれど、本当にこのめあてとまとめでよいのだろうか。



下の例のような「めあて・まとめのセルフチェック」を実施されてはいかがでしょうか。

## 指導案を提出する前に!! 「めあて・まとめのセルフチェック」(例)

### (2) 学習過程

学習内容	発問と予想される児童の反応	教師の支援
1 問題を把握する。	花だんの $\frac{3}{4}$ に花が植えてあります。 花だんの面積は 12m <sup>2</sup> です。 花が植えてあるところの面積は何m <sup>2</sup> ですか。	○花が植えてある範囲を予想しながら、児童と一緒に問題を作っていくことで問題把握につなげる。 ○問題文の中から疑問に思うことを問うことで、本時の課題につなげる。
2 めあてを設定する。	○問題の中で、よくわからないなと思うのはどこ。 ・ $\frac{3}{4}$ って何のことかな。 ・ 何算になるのかな。	

**【めあて】 分数の意味を考え、答えの求め方を説明しよう。**

○何が使えそうかな。答えはどのくらいになり... ○解決の... と、答えの見積も

**【まずは、△のめあてになっていないかどうかをチェックしましょう!】**



**めあてを  
チェック!**

- △まとめと正対していない。
- △本時の単元名やタイトルがめあてになっている。
- △「達成できない」、または「達成できたかどうかを評価できない」めあてになっている。  
→「○○名人になろう」、「日本一美しい字を書こう」、「考えながら歌おう」など。
- △活動がめあてになっている。  
→「日本の工業生産についてグループでまとめよう」、「粘土で作品をつくろう」など。
- △本時で子供に気付かせたいことがめあてになっている。  
→「複雑な形の面積を、公式を使って求めよう」など。

**【質の高いめあてになっているかどうかをチェックしましょう!☑がつけば、◎のめあてです!】**

- ☐授業中に、何度も立ち返ることのできるめあてになっている。
- ☐本時で「何ができればゴールなのか」を児童生徒がイメージできるめあてになっている。
- ☐授業が終わった後、子供が自分の学びを評価できるめあてになっている。

**【まとめ】 分数も、全体を1としたときの割合を表すことができる。その割合にあたる大きさを求めるときは、「全体の大きさ×分数」で求めることができる。**



**まとめを  
チェック!**

**【まずは、△のまとめになっていないかどうかをチェックしましょう。】**

- △めあてと正対していない。
- △本時の問題にしか適用できないまとめになっている。
- △どの単元でも、どの領域でもあてはまるまとめになっている。  
→「図に表して考えると立式しやすい」など。

**【質の高いまとめになっているかチェックしましょう。】**

**☑がつけば、◎のまとめです!】**

- ☐本時で学んだポイントがまとめになっている。
- ☐展開とつながりのあるまとめになっている。
- ☐評価の観点と関連したまとめになっている。
- ☐教科で育てる資質・能力に沿っている。



このまとめを子供から引き出すためのキーワードは...

**まとめからの逆思考で  
授業を構成!**

研究の秋です。この時期は、授業研究会等で指導案を作成したり検討したりする機会が多いのではないのでしょうか。指導案を作成するのはとても大変ですが、「指導案を完成させること」がゴールではなく、単元や題材で身に付けるべき資質・能力を明確にしたり、指導の意図を参観者に伝えたりするためのツールとして活用することが大切です。